

呼吸器腫瘍内科に通院中の患者さん(又は通院歴のある方)へ（症例報告に関する情報）

本院（又は本学）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。この症例報告は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この症例報告に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《課題名》

エントレクチニブ投与後に腫瘍増大を認めた ROS1 融合遺伝子陽性肺腺癌に対してクリゾチニブが奏功した1例

《代表機関名・研究代表者》

関西医科大学附属病院呼吸器腫瘍内科 任期付き助教 上裕 敬介

《目的》

エントレクチニブ耐性後の ROS1 遺伝子変異陽性肺癌に対するクリゾチニブの有用性を検討するため

《研究期間》

研究機関の長の承認日～2024年12月6日

《対象や材料》

●対象となる患者さん

肺腺癌の患者さんで、2023年8月から現在に至るまで抗癌剤治療を受けている方

●症例報告に用いる試料・情報の種類

情報：肺腺癌、53歳、女性、胸腹部CT(右上葉肺腫瘍、悪性胸水、右副腎腫瘍)

試料：気管支内視鏡検査にて採取した病理組織検体

《試料・情報の利用又は提供を開始する予定日》

2024年7月13日

《外部への試料・情報の提供》

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人情報や復元できる情報は、本院（又は本学）の研究責任者が保管・管理します。

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名：関西医科大学附属病院 病院長 松田 公志

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科 上裕 敬介

提供する試料・情報の取得の方法：当院で採取した病理検体を郵送する

《研究組織》

[研究責任者]

関西医科大学附属病院呼吸器腫瘍内科（氏名）上裕 敬介

近畿大学医学部ゲノム生物学教室（氏名）坂井 和子

《この症例報告に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この症例報告での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本症例報告の資金源・利益相反について》

この症例報告は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

本院（又は本学）における研究責任者および報告内容の問い合わせ担当者

関西医科大学附属病院

大阪府枚方市新町2丁目3番1号

電話 072-804-0101（代表）

研究責任者：呼吸器腫瘍内科 任期付き助教 上裕敬介